

一人ひとりがキラリと光る生涯学習のまち

地域コミュニティ活動を支援

生涯学習の推進については、「生涯学習ガイドブックマナビイネットワーキンやまだ」による学習情報の提供や自治会などコミュニティ組織の自主運営による地区生涯学習講座の開設支援、生涯学習特別講演会を実施します。就学前教育は、豊かな人間性をはぐくむ基礎教育に重点を置き、家庭教育学級などの充実を推進します。

学校教育については、山田中学校の校舎と体育館が完成したほか、山田、豊間根両中学校へのコンピュータ導入事業も進み、教育環境の整備が図られました。本年度は荒川、轟木、船越の各小学校にコンピュータを導入し



子供たちの創造性を伸ばす教育が大切（昨年の船越小学校運動会）

ます。昨年四月からスタートした完全学校週五日制ですが、ゆとりの中で「生きる力」をはぐくむ活動や創造性を伸ばす教育を推進します。

社会教育は、各年齢段階の家庭教育学級や各種教室、青年団体などの交流事業を実施します。スポーツの振興については、生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツ教室・大会の開催と軽スポーツの普及拡大を図るほか、町民総合運動公園ラグビーサッカー場のトイレの増改築事業を実施します。芸

計画の推進

町民との対話を重ね町政推進

国は「地方にできることは地方にゆだねる」との考えから、三位一体の改革（国庫補助負担金の整理合理化、地方

交付税の改革、税源移譲を含む税源配分の見直し）を打ち出しました。これは自立できる自治体の構築が求められており、町政の推進に当たっては自ら考え、自ら行う「分権型社会」の実現に向けた取り組みをより一層進める必要があると考えています。そのため、山田町情報公開条例に基づく情報公開に努め、さらにホームページの充実や「広報やまだ」による適時適切な情報提供

術・文化の振興は、町民芸術祭の開催支援に努めます。また、「山田町史・下巻」の資料整理や房の沢古墳群出土品の県指定文化財を目指し、埋蔵文化財保存整備事業を推進します。

交流の推進では、昨年、海外研修を、産業関係後継者育成を目的とした事業に切り替え、またジュニア海外使節団派遣事業は高校生も団員に組み入れるなどの見直しを行いました。本年度もジュニア海外使節団派遣事業をはじめ、各種研修事業を実施します。

コミュニティ活動の推進は、青少年地域活動や親子ふれあい事業、世代間交流事業、完全学校週五日制に対応した学校外活動の実践など、地域ぐるみの活動を支援していきます。

に努め、必要に応じて住民懇談会などを通じて対話を重ねていきます。

行政事務の効率的な運営については、庁内全職員に端末機を整備しました。これでインターネットへの接続や庁内の情報ネットワークが整備され、情報の共有化とデータの一元管理による事務処理の効率化を図ったところです。庁内に設置された情報化推進員の活動を通じさらなる有効活用を目指します。

住民基本台帳ネットワークシステムも今年八月の本格稼働に向け順調に作業が進んでおり、引き続き総合窓口の



町は総合窓口の充実を進めていきます

充実と併せて推進していきます。住民サービスは、民間施設での実践研修を通じ職員の意識改革を進めてきました。また職員の人材育成では、地方分権に対応できる職員の養成と研修を積極的に取り入れ、研修の場の充実を図ります。本年度は職員の県派遣に加え、宮古地方振興局との相互交流を行います。

行政改革は行政改革大綱の下、事務事業の整理合理化と運営の効率化を推進するため具体化を図ります。広域行政の推進については、宮古地区広域行政組合が行っている事業の実績を基に、一層の連携を強め、行政能力の向上と効率的な行政運営を図ります。国、県事業は、県立山田病院の改築をはじめ、道路、高潮対策、治山・治水など、関係機関に計画の採択や事業の促進についての要望を継続的に行っていきます。

以上、平成十五年度の主要な施策について申し述べましたが、第七次山田町総合発展計画の基本目標「豊かな自然と調和して人と産業が光るまち」の実現に向け、町民の皆さまの信頼に答えられるよう全力を傾注する覚悟であります。